



D&I社会実現のための 学び方・働き方に関する実証研究 中間報告シンポジウム

2025
10/24 日 16:00-18:00

【形式】 対面およびオンライン

【会場】 お茶の水女子大学
国際交流留学生プラザ2階多目的ホール

【対象者】 一般公開(D&Iやジェンダー・イノベーションに
関心のある政府・企業・大学・研究機関の関係者、
本学学部生・大学院生・教職員、一般の方)

【主催】 お茶の水女子大学 ジェンダー・イノベーション研究所

【協力】 お茶の水女子大学 理系女性育成啓発研究所

2023年度に開始した第3期戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)は、2025年度が5カ年プログラムの中間地点となります。お茶の水女子大学では、研究課題:ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームに参加し、サブ課題B:「新たな『学び』」と働き方との接続内の研究開発テーマとして「D&I社会実現のための学び方・働き方に関する実証研究」に取り組んでいます。本シンポジウムでは、実証研究1「高校生を対象とした進路選択に関する大規模調査」および実証研究2「知・経験のD&I実現のための家事支援」より、これまでの調査研究の成果報告をいたします。また、その研究報告を受けて、本課題の西村訓弘プログラムディレクターと東博暢サブプログラムディレクターを交え、イノベーションによる新たな価値創造と、多様な幸せ(well-being)が実現される社会の展望について議論します。

PROGRAM

プログラム内容

- 16:00 開会挨拶と事業紹介
石井クンツ昌子 (研究開発責任者) お茶の水女子大学 理事・副学長
- 16:15 実証研究1 研究報告
高校生を対象とした進路選択に関する大規模調査
「大規模調査から見えてくる日本の高校生の進路選択」
加藤美砂子 (共同研究者) お茶の水女子大学 理事・副学長
- 16:40 実証研究2 研究報告
知・経験のD&I実現のための家事支援
①「家事行動のジェンダー分析:福井調査の結果より」
山本咲子 新潟大学 教育学部 講師
②「テレワークで考える仕事と家庭生活の両立」
高丸理香 お茶の水女子大学 ジェンダー・イノベーション研究所 特任准教授
③「男性育児休業の実態」
斎藤悦子 (共同研究者) お茶の水女子大学 ジェンダー・イノベーション研究所 教授

休憩

- 17:15 ディスカッション
人口減少時代のD&Iとイノベーション
【コメンテーター】
西村訓弘 (ポストSIPプログラムディレクター) 三重大学大学院 教授
東博暢 (ポストSIPサブプログラムディレクター [サブ課題B])
株式会社日本総合研究所 プリンシパル
【ディスカッサント】 【モデレーター】
加藤美砂子 石井クンツ昌子
斎藤悦子
- 17:55 閉会挨拶
石井クンツ昌子 (研究開発責任者) お茶の水女子大学 理事・副学長

お申し込み用
QRコード



申し込み締切

対面・オンライン / 2025.10.22 (水) 12:00

申し込みURL

<https://form.run/@sip2025>

詳細HP URL

<https://igi-sip3.cf.ocha.ac.jp/events/1734/>

お問い合わせ

お茶の水女子大学 SIP事業事務局 E-mail: ocha-sip3@cc.ocha.ac.jp